

D-a サプライヤーとともに—生産協力会社とのパートナーシップ構築

サプライヤーとともに—生産協力会社とのパートナーシップ構築

[活動方針]

私たちは、事業活動が各分野の取引先の協力と支援のもとに成り立っていることを自覚し、取引先の皆様と信頼関係を構築、相互に切磋琢磨します。

D-a 適正な取引—購買調達方針・グローバル購買

購買調達方針

私たちは、地球環境・地域社会に配慮し、公正な取引を基本とした取引先との協力・信頼関係を大切にしています。また、国内外の取引先とのつながりを強化するため、サプライチェーンマネジメントの運用やコミュニケーションを積極的に実現することで、取引先と共に成長するための購買活動をめざしています。

部材・設備を購入するにあたっては、日本国内・海外各国の法令および社会規範を遵守し、取引先の選定に際しては品質・価格・納期・環境対応・CSR活動などの指標を客観的に評価することで公平かつ公正な取引が行われるよう努めています。また取引先に対し、反社会的勢力との関係を排除する旨の覚書締結や紛争鉱物への対応要請、部材の納品時には繰り返し使用できる専用ケースを奨励するなど、コンプライアンスや環境負荷低減を重視した購買活動を実施しています。

HORIBAグループ購買調達方針

1、パートナーシップ

長期的な信頼関係を構築し、相互協力により共存共栄の関係を図ります。

2、公平・公正な取引

国内外のつながりを強化し、品質、納期、価格、環境対応などを重点に適正な基準でかつ客観的な立場で選定し、公平かつ公正な取引を推進します。

3、環境への配慮

「グリーン調達ガイドライン」を定め、環境に配慮された部材や材料の調達を推進します。

4、情報の守秘

取引を通じて得た情報を承諾なしに第三者に公開しません。

グリーン調達

私たちは、製品の全ライフサイクルにおける環境負荷低減をめざしたグローバル製品づくりを推進しています。そのためには、グループ資材部が調達する部品や材料そのものの環境負荷が低減されている必要があります。

2003年に発行された『グリーン調達ガイドライン』を法規制や社会動向に併せて適宜改定し、取引先各社をお招きしての説明会や教育を実施したり、環境への取り組みに積極的な取引先から優先的に調達するなど、グリーン調達*の推進に努めています。

*詳しくはHORIBAホームページ内、<http://www.horiba.com/jp/social-responsibility/relation-with-business-partner/green-procurement/>に記載しています。

グローバル購買の推進

世界各地のグループ会社が連携して定期的に会議を開催し、共通の指標を活用しながらグループ間の壁を越えて高い生産性の実現をめざし、部品の標準化や共同購買、品質向上などグローバルに取り組んでいます。また、グローバル購買の推進にあたって懸念されることの1つに、外為法にもとづく輸出管理が挙げられます。この問題に対応するため、輸出管理委員が中心となって輸出管理部門と緊密な連携をとるとともに、定期的な教育を行って法令の遵守に努めています。

D-a 生産・組み立て協力会社との関わり

HORIBAの事業活動は、生産に必要な原材料・部品などを供給していただく取引先の協力と支援を得て成り立っています。私たちは取引先との信頼関係を基に、互いに切磋琢磨して技術の向上を図り、社会に貢献できる企業をめざしています。

生産・組立協力会社との関わり

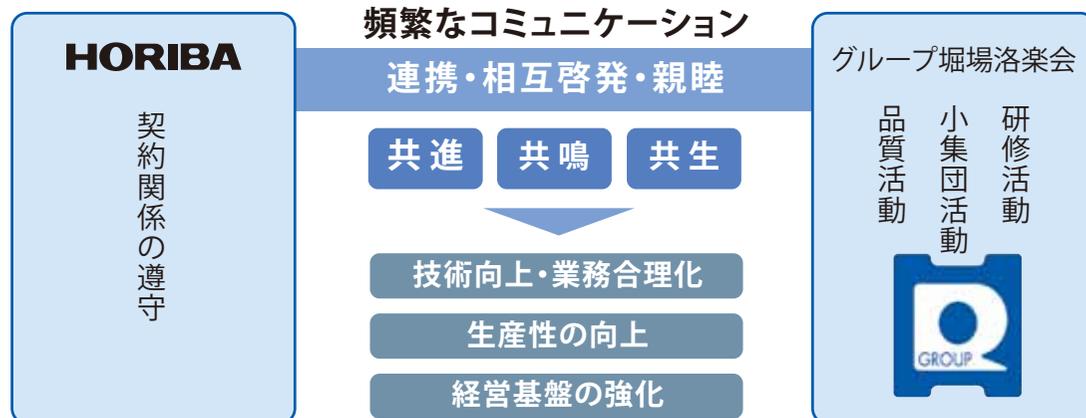
HORIBAでは部材の調達先である取引先を「生産協力会社」と称し、互いに協力し合い、共に成長する仲間であると考えています。その協関係は、材料の調達先だけでなく、組立を委託している組立会社とも強く結ばれています。国内グループ会社の取引先で「グループ堀場洛楽会」を組織し、共進・共鳴・共生をモットーとして、相互に啓発し合っています。

2012年はグループ堀場洛楽会と共同で以下の取り組みを行いました。

- ・HORIBA 製品勉強会 / 工場見学会
- ・HORIBA COLLEGE 品質講座
- ・技能オリンピック
- ・QC 活動大会
- ・改善活動報告会
- ・技術研究会

例えば「HORIBA 製品勉強会」では、生産協力会社会のメンバーに HORIBA 製品について学んでいただくとともに、納品していただいた部材がどのように使用され、どのような役割を果たしているかを工場で見学していただくことで、HORIBA 製品に求められる高い品質要求を知っていただきました。

このように、取引先と HORIBA がうまく連携し互いに切磋琢磨することで、品質意識の向上や生産現場改善、技術力の向上につながっています。



HORIBA 工場見学会の様子 (2012年6月)

D-a HORIBAグループ生産協力会社 インタビュー

HORIBA グループ生産協力会社 インタビュー

大正6年(1917年)創業の二九精密機械工業株式会社。長年培われた超微細加工の技術を追求し、世界初・βチタンの小径シームレスパイプの一貫生産を実現されました。HORIBAとのお付き合いは約50年。長きにわたり生産にご協力をいただいています。

時代と市場のニーズに合わせ、事業を展開されている二九精密機械工業株式会社 代表取締役社長 二九 良三様に、ものづくりについてのごこだわりや、HORIBAへのおもいを語っていただきました。



ふたく
二九精密機械工業株式会社
代表取締役社長 二九 良三 様

時代に沿った技術革新を進め、多分野での 活用が期待される“世界初”の技術を確立！

「私たち二九精密機械工業株式会社は、金属の微細切削加工を中心に、先々代の社長時代よりHORIBAさんへの部材供給を担わせていただいております。また昨今では、部品だけでなくユニットとしての完成品までを手がけております。レーザーを使った微細加工・レーザー溶接などを得意としている他、小径金属パイプの内径研磨など、難易度の高い各種加工技術を誇りとしております。そしてこの度、βチタン合金の極細パイプの量産に世界で初めて成功しました。

βチタンは、チタンの特徴である《強い・軽い・錆びにくい》に加え、しなやかに曲がる特性を合わせ持つことから、様々な分野での利用が期待されています。例えば、ステンレス製の手術用具は10例で錆びたり曲がったりしていましたが、βチタン製では100例以上も使用可能です。ニードルについても劣化速度が既存品の4分の1の実績があります。他にも内視鏡関係の試作品など、国内外医療系会社の注目度が高いですね。

一方このβチタンパイプは、釣り用具のスピニングリールや、鮎釣り用の竿の穂先にも採用

されています。今後は民生品にも力を入れていきます。フランスの有名ブランド会社からは、『βチタンパイプをアクセサリとして加工できないか』という問い合わせもいただいております。このように、私たちの技術を様々な分野で役立てていただけることをとてもうれしく思っております。」



βチタン



チタンニードル

“オンリーワンのHORIBAさん”のために 活かしたい“技術とおもい”

私たちの製品をHORIBAさんに採用いただいてから、半世紀になります。その間、現会長の社長当時ですが、約25年間、生産協力会社会の会長他役員も担当させていただきました。まさにHORIBAさんと共に私たちがあったわけです。現在は、自動車排ガス測定装置『MEXA』に関するものが一番多いですね。

HORIBAさんの印象を一言で表すなら『がんこ』でしょうか(笑)。それがまかり通ることが、私にはうれしいところです。そして

D-a HORIBAグループ生産協力会社 インタビュー

HORIBA さんにはこれからも“オンリーワン”で進んで行ってもらいたいです。そのための協力を私たちは惜しみません。経営方針がめまぐるしく変わる会社が多い中、HORIBA さんは変えてはならないこと、変えなければいけないこと、いずれも筋が通っています。

私たちは2012年12月、京都市南区吉祥院に、京都工場・R&Dセンターを新設し、量産体制を整えました。HORIBA さんの近くで私たちの技術をアピールできると思い、この場所に決めました。だからどこよりも早くHORIBA さんの開発や技術系の方に、工場を見ていただきました。とにかく私は、HORIBA さんが好きなんです。あらゆる分野でナンバーワンになってほしいし、そのための協力がしたいのです。例えばHORIBA さんは、自動車排ガス測定装置で世界の約80%、半導体製造ラインに欠かせないマスフローコントローラーで世界の約43%のシェアを持っておられる。さらにそこをもっと伸ばすための製品作りに向けた協力や、他社がマネできない様な高機能な難易度の高いパーツを製品の一つ二つ搭載することで、HORIBA さんのオリジナリティーと優位性が保てる。私たちは、そのような提案をしていき

いと考えております。

堀場最高顧問には、長きにわたって私たちが育てていただいております。おかげさまで、京都市ベンチャー目利き委員会よりAランク認定もいただくことができました。HORIBA さんの長きにわたる歴史の重みが、私たちを“仕事をトータルで受けられる”企業に成長させてくださいました。『加工』は、異業種のネットワークを広げることでより良い製品を産み出します。お客様のオーダーに対して『ウチでできる』『あの会社さんと協力すればできる』といったよう

な、たくさんの引き出しを持っている必要があります。これからも得意な分野を伸ばしつつ、いろいろな企業と情報交換をしながらお付き合いをしていきたいと思っています。私たちは、生産を請け負う仕事と、開発・技術の方とコラボレーションして新しいものを一から作る仕事、この両方を大切にしていきます。もちろん今後ますますHORIBA さんとは、既存事業はもとより、開発途上の案件、さらには次のステージへとつながる仕事にも精一杯ご協力させていただきたいと思っています。



本社



八木工場



京都工場・R&Dセンター

【会社概要】

二九精密機械工業株式会社
創業：1917年(大正6年)3月
設立：1953年(昭和28年)1月
代表取締役会長 二九 宏和
代表取締役社長 二九 良三

所在地：

【本社】京都市南区唐橋経田町33-3
【八木工場】京都府南丹市八木町大藪下河原田8-1
【京都工場・R&Dセンター】京都市南区吉祥院内河原町20-1
社員数：90名
事業内容：
・精密機械部品切削加工
・小径βチタン合金パイプの製造／販売／提案
・眼鏡ゆるみ止めネジ等の販売

サプライヤー

HORIBA Gaicareport 2013

KEYWORDS

：| 購買調達方針 | グローバル購買 | グリーン調達 | 生産協力会社